

令和8年2月19日

かほく市長 油野 和一郎 様

かほく市総合計画審議会
会長 小林 宏光

第3次かほく市総合計画（案）について（答申）

令和6年10月31日付けで、諮問を受けました第3次かほく市総合計画（案）について、かほく市総合計画審議会要綱（平成17年5月13日 告示第45号）に基づき、当審議会において慎重に審議した結果、当計画案は妥当であると認められましたので答申といたします。

これまで、「海とみどりに抱かれた、にぎわいあふれるまち」を基本理念に据えた第2次かほく市総合計画を基に各種施策を実施してきたことにより、人口減少の時代においても、かほく市では10年連続での人口増加を達成するなど、人が集うまちづくりの着実な成果が現れています。また、市民意識調査における評価からも、施策の実施方針に対する市民の一定の理解が得られていることを確認しました。

一方で、現在は堅調に推移している人口増加も、中長期的には減少に転じるリスクを内包しており、今後は少子高齢化と人口減少の進行、災害への対応、社会・経済環境の変化、および行政経営資源（人材・財政）の制約などを踏まえ、限られた資源の下で効果を最大化する施策の展開が求められます。

当審議会と致しましては、本計画が基本理念として掲げる「海とみどりに抱かれた、魅力と活力あふれるまち」の実現に向け、次の事項に十分留意され、かほく市の更なる発展と住みよいまちづくりの推進に取り組まれることを要望いたします。

記

1 復興・再建について

令和6年能登半島地震からの復旧・復興を最優先課題とし、暮らしや住まいの再建、インフラの早期復旧、さらには地域産業の再建を一体的に進め、「創造的復興」の理念に基づき、持続可能でより良い地域社会の再構築を図ることを望みます。

2 健康・福祉について

高齢化の進行を踏まえ、市民が住み慣れた地域で健康で安心して暮らせるよう、保健・医療体制や高齢者・障害福祉を充実させ、地域全体で支え合う仕組みを構築することを望みます。

3 子育て・教育について

結婚・出産・子育て支援を充実させ、安心して子どもを産み育てられる環境を整備することにより、子育て世代の定住を促進するとともに、教育や学習機会の充実を図ることで、かほく市の未来を担う人材の育成を進めることを望みます。

4 安全・安心について

令和6年能登半島地震の教訓を踏まえ、危機管理体制の強化と防災施設・設備の整備を進めるとともに、防犯、消防、救急体制を充実させ、災害に強く安全・安心なまちづくりを推進することを望みます。

5 環境保全・インフラについて

豊かな自然環境と快適な生活環境を保全し、道路や上下水道などの社会インフラの整備、公共交通ネットワークの構築を進めることで、魅力的な景観と利便性を兼ね備えた持続可能な都市を形成することを望みます。

6 スポーツ・文化について

誰もがスポーツを楽しめる環境を整備し、競技スポーツへの支援を進めることで、スポーツによる地域振興を図るとともに、文化・芸術の継承や国際交流を推進し、市民の健康増進と生きがいつくり、ふるさとへの愛着の醸成につなげることを望みます。

7 産業・交流について

既存産業の強化と新産業の育成により雇用創出に努めること。また、地域資源を活かした観光振興で交流人口を増やし、地域経済を活性化するとともに、移住・定住促進による定住人口の増加と地域の活力維持を図ることを望みます。

8 地域づくり・人づくりについて

市民一人ひとりがまちづくりの担い手となり、多様な主体の連携や協働により、持続可能な地域コミュニティを形成するとともに、人権尊重の取り組みを進め、誰もが活躍できる多様性にあふれた地域づくりを推進することを望みます。

9 行政・財政について

行政手続の簡素化や職員定員の適正化などにより行政サービスの向上と行政運営の効率化を図るとともに、財政健全化、人材育成及びDXの推進を通じて、持続可能な行財政運営を実現することを望みます。

10 横断的事項について

「デジタル技術の活用」「SDGsアクションプランの推進」「カーボンニュートラルの推進」の3点について、第3次かほく市総合計画に基づく施策を講じる際には、分野横断的に推進されることを望みます。

以上